**2０24年12月度　運営会議　議事録**

議長： (YN1)塚脇、　書記：(YN2)岡崎　加筆：柴田・鹿島

日時　：2024年11月30日(土)　1３:３0～16:00

場所　：「都筑地区センター　大会議室」

出席者： (F)柴田、鹿島、森田、藤井、青木、浅野

(YE) 高橋、三田、島田、杉山、田中、軒原＊

（YW） 宮下、井上

（YN1） 石橋、宮坂、塚脇、山本（定）、横﨑、金井

(YN2) 山﨑、滝澤、古村、湯本、和田、岡崎、土屋、河野

以上理事　29名、一般会員　2名　合計31名　　　　敬称略・順不同

＊新入会員の（YE）軒原豊さんが初めて運営会議に出席し挨拶をされました。

事前配布資料

（資料1）　運営会議地区報告12月度（各地区代表）

（資料2）　2025教育委員会・東京応化資料(井上)

（資料3）　テーマ企画書ニュートンの揺りかご241130(石橋)

（資料4）　刷新プロジェクト解散の件\_241130(鹿島)

(資料5）　寄付担当報告241130(土屋)

（資料6）　年間総合スケジュール\_25年度\_体験塾+会議関係(森田)

（資料7） ホームページの「データー保管庫」運用の手引き(案) (島田)

（資料8） 2０２４年度中間監査報告とお願い(島田)

（資料9）　2024年12月感謝状贈呈に関して(山崎)

事前のお知らせと確認　(柴田)

安田前代表理事が体調不良のため11月末で辞任されることとなりました。ついては、感謝状(会員一同から)を贈呈したく準備をしています。その内容についての確認をお願いします。 => 特に異議なし。

1. **各地区状況報告****→　(資料1)12月度地区報告を参照**
	1. **横浜北1地区　（石橋）**

□特記事項

１）体験塾：11月1回実施、感染症等によるキャンセルが多くあった。12月は3回実施予定。

２）イベント：11/10　都筑フェスタ(くるくるリング、とんぼ等)　運営会議をしている会場で実施。

3）本部関係　横浜研修 : 2025年理科推進スタッフ講座 (横崎)

かながわコミュニティカレッジ講座企画提案書、よこはまコース協賛申請書提出。

■質疑応答

　　特になし

* 1. **横浜北２地区　（山崎）**

□特記事項

１）11月度体験塾 : 4回実施、12月度体験塾 : 6回実施予定

２）イベント　: 11/3日かながわ湊フェスタ くるくるリング、磁石でモール絵で参加。

3）補足 : 12月大綱中コミハ　新会場での体験塾実施予定

4)本部関係 : 2025年新年会の予定が決まり(1/19日みなと未来の中華店)参加募集中

■質疑応答

低学年塾の記載が漏れている(土屋)。　後日追加した資料を送付する。(既に差替え済み)

イベント実施の記載の中で、”販売しました”との表現は止めてほしい。(島田)

* 1. **横浜東地区　（田中）**

□特記事項

１）体験塾：11月度6回実施、12月度6回実施予定

２）2025年計画 : 年間体験塾66回計画。2人で1/3を実施していることが問題。

3）イベント等 : みんなの「わっ!」フェスタ　簡単な無料アイテムで多くの参加者があった。

■質疑応答

活動実績として低学年塾の実施状況についても報告してほしい。(土屋)

東としては、以前に北2の報告で問題になったので、体験塾のみの報告としている。(田中)

新しいこと/他地区の参考となることのみ報告すればいいのでは。(島田)

北2では、ページ数が多いとの指摘があり、体験塾以外は回数のみとして1頁にしている。(滝澤)

藤沢としては、他地区へのアピールを意識して、A4一枚で体験塾以外も報告している。(鹿島)

**[結論] 他地区で参考になることを報告することを原則として、各地区で形にとらわれずに臨機応変に対処すれば良いのでは(柴田)**

* 1. **横浜西地区　（井上）**

□特記事項

１）体験塾：11月度3回実施、12月度2回実施予定

２）1-3月の配員表に協力して頂いて感謝しています。

■質疑応答

12/21日の風向計については、主任を坂梨さん(藤沢)に変更(柴田)

◇2025年度教区委員会後援支援・東京応化助成金申請準備(宮下)

必要書類と納期を（資料2） 2025教育委員会・東京応化資料にまとめた。

横浜市教育委員会関係は、紙ベースにて山本(定)さんに提出

東京応化助成金関係は、データーとして三田さんに提出

研修、会場のチラシ、写真は宮坂さんに提出

　　　　　　　一部個別に依頼するものもあるが、今回の資料が提出依頼となる。

教育委員会申請用資料等は1/7日(次回運営会議)をめどに提出してほしい。

* 1. **藤沢地区　（鹿島）**

□特記事項

１）体験塾：11月度3回実施、12月度3回実施予定

　　　　　　　お友達登録の利用により多くの応募者がある。体調不良による欠席が多い。

２）出前塾、出前体験塾 : 11月3回、12月以降4回計画

　　　　　　　北部地区への進出を目論んで、綾瀬での新会員を増やしたい。

3)体験塾以外

タウンニュースの元旦名刺広告　22,000円を依頼(含Web版5,000円)

**■質疑応答**

名刺広告の意味は、これを機会に関連記事を載せやすくすることにある。(島田)

☆1月より六会公民館の駐車場が有料となるのでご注意ください。(柴田)

1. **新テーマ1件　企画提案審議(資料3)**

**[**テーマ企画書ニュートンの揺りかご] 発表(金子)

複数の振り子を使ったニュートンの揺りかごを組み立てて、この観察から運動量保存則を理解する。

質疑応答

・鉄球の利用については、精度がいいが、2千円程度なので高価で使えないのでビー玉とした。

・球のサイズについては、16mmのB玉もあるが、すぐに止まってしまうので25mmを使用している。

・特許等については、同種のものが多く市販されていて、特に許諾権の問題は無い。

**結論 : 参加費 700円で実施　---全員賛成**

1. **刷新プロジェクト解散の件(資料4) (鹿島)**

安田前代表幹事より、当プロジェクトを解散することについての報告と承認依頼が有ったので、鹿島理事が代表して説明する。当初、論点整理で時間が掛かったが、資料に記載されている主要な課題については、アクションにつなげることが出来た。本件については、11/1日の第27回会合で申し合わせ済みである。

質疑応答

プロジェクトのメンバーがどのように考えているかが重要である。安田理事が参加できなくなったから止めるというのはおかしいのでは。

参加者をいかに増やすか、たんけん工房の組織に関する案件もあった。今後機会があれば、別のプロジェクトとして再提案していきたい。

今回でプロジェクトは中止し、計画したビジョン作りはやりとげたいと思っている。(鹿島)

**結論 : 現在実施中のプロジェクト案件は継続するものとして、本プロジェクトは終了とする。**

**=休憩(10分)=**

1. **寄付担当窓口より報告(資料5) (土屋)**

1)3年間に寄付された方、賛助会員費が未払いの方への寄付継続のお願いを送付した。

2)「神奈川県NPO協働推進課」より掲示場所の連絡が有ったので、県民センターを訪れた際には是非見て頂きたい。

1. **探検つうしんアンケート報告(土屋)**

加藤さんにアンケートの結果をまとめて頂いたが、まだ分析出来ていない。

67名の回答があった。(理事会の中でも半数程度が回答)

**結論 : アンケート結果をA4用紙一枚程度にまとめて、後日報告する。**

1. **２０２５年度年間スケジュールの件(資料6) (森田)**

変更案件が多く、個別には訂正を出していない。25日配布の01版が最新である。

これをベースにして、配員計画やカレンダーを作成していく予定。

最終版とする前に、本日(11/30)中の変更依頼は受け付ける。・・・・・12/1 最終版配布済み

1. **ホームページの「データー保管庫」の運用他(資料7) (島田)**
2. 保管庫の運用について

地区別の資料保管場所を、たんけん工房のホームページ上に用意した。

アクセス権限者を添付の資料のように整備したので、各地区別で利用開始可能。

当面利用規程のようなものは作らないで、各地区で話し合って利用してみてほしい。

必要に応じて、別途利用マニュアルのようなものは作成する予定。

質疑応答

・具体的な利用方法が分からないので、現在廣瀬さんに問合せているが回答が得られない。(滝澤)

 別途、ホームページ委員に確認する。

・現在設定されている権限者の見直しが必要である。(滝澤)

　権限者の変更がある場合は、島田さんへ連絡する。

・地区別だけでなく、工房全体としての資料共有や掲示版として利用できないか。(土屋)

この保管庫は、完成した資料専用で有って、作業中の資料の保管には向かない。(島田)

別途、本部用の保管場所も用意してはどうか。(柴田)

1. タウンニュースについて

横浜は6地区に分けて名刺広告を実施。一カ所16,500円かかっている。

この記事を機会に、地域を巻き込んだイベントを実施する場合は掲載するようにタウンニュースに

売り込んでください。

1. くるくるリングについて

神奈川区役所総務部地域振興課からの要請により山崎、島田、餅田で訪問して説明。(11/16)

先方は非常にくるくるリングを気に入っており、実際に作ってもらって詳細な説明をした。材料を作成する専用器具も先方の希望により提供した。

1. HP委員会に関する報告

・体験塾の日程をリンクする担当を限定した。

・コンタクトホームは、一年を目途に削除するが、コンテンツは古いものも保持する。

・HP上の写真が古くなっているので、新しいものが有れば貼り換えたい。

・日程表上のテーマ名とチラシで利用する名称の整理を行った。

1. **中間監査結果の報告(資料8) (島田)**

11/10日に実施された、2024年度中間監査の結果と依頼事項を報告する。

☆会計監査

たんけん工房は、組織運営が群を抜いてしっかりしているとの好評価を得た。

但し、支出が増えているので、寄付を増やす活動を心がけてほしい。

☆立替金精算書の確認

以前からの指摘である細かい点が徹底出来ていないので、今後さらに徹底する必要がある。

ポイントによる支払は出来ないので注意。得られたポイントは個人の支払いで利用してもよい。

☆業務監査確認

会員は高齢化しているので会員への負担が少なくなる方向で処理方法等を整備してほしい。

袋とじへいれるものについての見直し。人事(理事・監事)と会計だけで良い。

コメント

・精算時の注意点としては、資料記載以外にも色々な注意点がある。

　綴じ代以外の所へ名前記載。一枚に多く貼り付け過ぎないようにして、各領収書の金額と対象が容易に見えるようにするなど、基本的に会計担当が見やすくしてほしい。

・精算時にポイントを利用して、請求額を下げることは問題ない。(請求額と支払額が一致)

**・立替金精算書の注意点については、全員に徹底させるために別途情報担当を通して全員に配布する。**

1. **地区における感謝状贈呈に関して(資料9) (山崎)**

北2地区で退会者がいるので、感謝状の贈呈を検討している。この取扱いについて議論して頂きたい。

質疑応答

・まずは各地区で議論するべきでは。個人的には無くてもいいと思っている。(田中)

・東地区では退会者が多く、お礼のメールを送付するのみとしている。(島田)

・過去20周年、15周年で感謝状を出して来た。20周年の時は、幾つかの判断基準のもとに対象者を選定して対応した。(高橋)

・15周年の時は、安田さんからの個人的な感謝状の形式であった。

・感謝状には、個人の業績が書いてあり個別に作成されていた。ありがたいが　もらっても押し入れにしまったままとなってしまうのでは。(柴田)

**結論 : 地区ごとに意見をまとめて頂いて、後日発表して頂く。**　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　以上